

## 年頭のごあいさつ



茨城県知事  
茨城県統計協会総裁

橋本

まさる  
昌

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私も知事就任以来早くも4度目のお正月を迎えました。内外ともに多事多端なこの3年余り、「清潔、連帯、創造の県政」を基本理

念に「生活者の視点」を重視して県政運営に取り組んでまいりました。

この間、「いばらきづくり1000人委員会」や「知事への便り」などを通じて県民の皆さんの声を県政に反映させるよう努めると共に、生活関連道路や下水道の整備、さらには地域ケアシステムの充実、三歳未満児の医療費の無料化など、福祉、医療面での施策の拡充、海外からも多くの参加をいただいた第6回世界湖沼会議の開催、今後の県づくりの指針となる「茨城県長期総合計画」の策定など、多くの新しい施策を進めることができました。

これからも、郷土茨城の有する限りない発展可能性を現実のものとしてまいるため、本年も県民の皆さんと共に手を携えて、「新しいいばらきづくり」に全力で取り組んでまいる決意でございます。

特に、福祉・保健・医療の充実をはじめ、道路、上・下水道等の生活環境施設の整備、教育・文化の振興、大好きいばらき県民運動の推進など、県民生活に密接に関連する分野を一層力を入れて推進してまいります。

また、昨年百里飛行場の民間共用化を目指すことが第七次空港整備五ヵ年計画に盛り込まれました。今後、共用化の早期実現に努めるとともに北関東自動車道路等の4本の高速道路や常陸那珂港の整備、常磐新線の建設など、産業と県土の発展を支える基盤整備に力を注ぐほか、首都機能の誘致や2002年ワールドカップの鹿島開催にも積極的に取り組み、本県の輝く未来を実現してまいりたいと考えております。

これらの施策を総合的に進め、県民の皆さん誰もが、安全で快適な環境の下、安心してゆとりやうるおいに満ちた生活をおくることができる魅力ある地域社会の形成を目指してまいります。皆様方のなご一層のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

## 新年のごあいさつ



茨城県企画部長  
茨城県統計協会長

根本 栄一

新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝とを心からお祈りしますとともに、日頃、統計行政にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

昨年は毎年実施されております統計調査のほか、10月には統計調査のなかでも重要な事業所・企業統計調査，社会生活基本調査，11月には本県独自の県民生活地域調査が行われましたが、皆様方のご尽力により円滑に実施することができました。深く感謝申し上げる次第であります。

さて、21世紀を目前に控えた今日、わが国の社会・経済情勢の変化には著しいものがあり、技術革新、経済構造の変化、高度情報化、高齢化、国際化など複雑多様化しております。

こうしたなかで、本県では県政を進める指針として『茨城県長期総合計画』を策定し、この総合計画を具現化した県政運営を行うことにより生活基盤を整備し、「愛される郷土・いばらき」のさらなる躍進を目指しております。

このような総合計画や諸施策の推進にあたっては、現状の正確な把握と認識、将来の的確な予測が不可欠であり、その基礎資料として統計の果たすべき役割はますます重要性を増しています。

一方、統計を取り巻く環境は、住民の価値観の多様化、プライバシー意識の高揚などにより、これまでも増して厳しいものとなっています。

このような情勢を踏まえ、県といたしましても、統計調査にたずさわる調査員の方々、調査結果を利用するユーザーの方々の要望に応えられるよう、今後とも皆様方と力を合わせ、統計行政のさらなる推進を図ってまいりたいと考えております。

本年も商業統計調査，農業基本調査など各種統計調査が行われます。どうか皆様におかれましては、統計の持つ社会的意義と重要性とを十分ご理解いただき、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。